



あめくっこだより 天久っ子便り

第6号

令和3年5月6日(木)
発行者: 校長 宮里 寿子

お話朝会 「お義父さんの教えと大好きな言葉」 ～「Respect (リスペクト)」と「笑顔」～

今朝のお話朝会は「校長講話」。2年前に他界した義父のことをもとに、私が大好きな、そして、天久っ子にも大切にしてほしい「言葉」についてお話しました。以下、紹介します。

2年前に他界した義父の「宮里朝光」は、琉球歴史・文化の研究家でした。新聞にもよく掲載され、琉球に大変誇りを持っている人でした。そして、お義父さんからたくさんのことを教わりましたが、とても心に残っている教えが2つあります。一つは「琉球の人は、平和を大切にした」ということです。世界のお城を見てみると、ギリシャのお城の壁には鉄砲台があります。なぜなら敵が襲ってきたらすぐに攻撃できるようにするためです。日本のお城も同じように、矢がすぐ撃てるように穴が空いています。どちらもはじめから、相手を倒すことを考えて作られていますが、首里城の城壁には、鉄砲台や矢を放つための穴がありません。琉球は外国との交流が盛んですが、戦うのではなく話し合いで決め、争いが嫌いだったそうです。そして、もう一つの教えが「琉球の人は、どんなに偉いお役人さんでも、自分より年上の人にはきちんと挨拶をし、敬っていた」ということ。敬うというのは、校長先生の大好きな言葉、「Respect (リスペクト)」です。校長先生の考える「Respect」とは、相手を大切に思い、その大切にすることを話し方や行動で表現すること。そして、相手のことを大切だという気持ちを行動で表現するのに一番良いのが、「笑顔」だと思います。校長先生は毎朝、中央階段のところで挨拶しているけど、マスク付けてても笑顔であいさつされたら、とっても嬉しくなります。元気をもらえます。笑顔ってパワーの源なんです。

そこで、天久っ子にも、校長先生の大好きな言葉「Respect (リスペクト)」と「笑顔」をぜひ、好きになってほしいです。そして、みんなもこの2つの言葉、実行してもらいたいのです。



宮里 朝光

琉球の人は
平和を
大切にした



ギリシャのお城



首里城(琉球)の城壁

琉球の人は
相手(年上)
敬っていた

敬う
Respect
(リスペクト)

Respect
まわりの人を大切に
するの気持ちを
話し方や行動で
表現する。

校長先生が大好きな言葉
Respect
リスペクト
笑顔

引き続き「コロナウィルス感染症予防対策」ご協力をお願いします。

4月28日付の文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」で、感染経路については小学生の78%が「家族内感染」で最も高いとのデータが示されています。また、子どもへの罹患率が低いとされていた従来株と比較すると、変異株の子どもへの感染力は強い可能性があるため、引き続き、下記のご協力をお願いします。

- 家族の体調の確認を行う。児童及び同居家族において、風邪症状（発熱、のどの痛み、咳、だるさ等）がある場合、必ず休む。軽微な体調不良でも休む。（出席停止）。
- マスク着用（下校後、お友達と遊ぶときもマスク着用）、手洗いを徹底する。
- 差別・偏見・誹謗中傷をなくす…個人の特定や風評被害が生じないよう、冷静な対応。

※文部科学省より、動画「子どもたちの感染状況と学校の感染症対策」が配信。ぜひ、ご覧下さい。